



Team石川



小中一貫CSだより第2号

平成29年1月18日発行 石川小・中学校 文責(松)

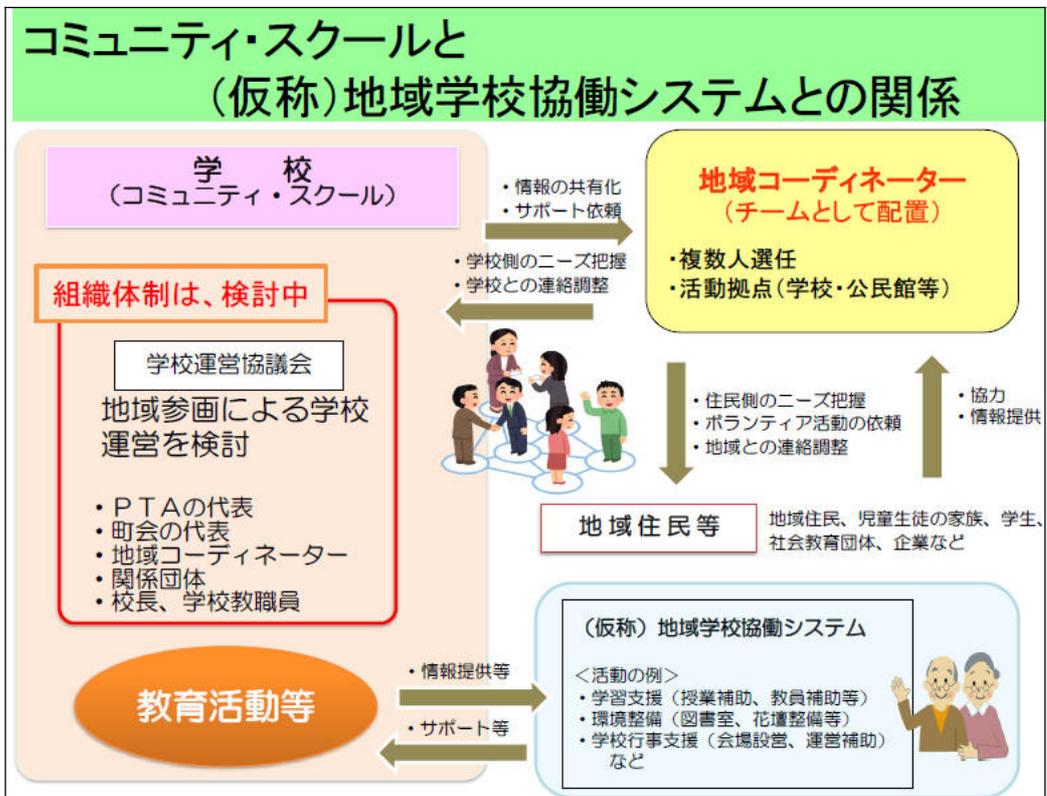
「(仮称)地域学校協働システム」とはどのようなしくみか

あけましておめでとうございます。保護者や地域の皆様におかれましては、穏やかに新年をお過ごしのことと思います。石川小・中学校では平成29年は、酉年ということもありますので、新しい学校づくりに向けて、さらに飛躍の年としたいと思っておりますのでご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

では、早速、第1号でお知らせしたとおり「(仮称) 地域学校協働システム」と「地域コーディネーター」について、できるだけ分かりやすくご説明したいと思います。

まず、下の図をご覧ください。弘前市教育委員会がHP（「教育自立圏」）で示したものです。

学校では様々な教育活動が行われていますので、事例を挙げて説明したいと思います。例えば、石川中学校では、毎年5月にマラソン大会が行われていますが、運営するに当たっては記録、チェック係など様々な仕事があり人手が必要です。そのような折りに、保護者や地域の皆様



の助けがあれば、より安全・スムーズにマラソン大会を実施することができます。このように学校の教育活動への支援を様々な場面で、保護者や地域の皆様にお願いし、それに応えていただくシステムが「(仮称) 地域学校協働システム」です。そして、学校と地域住民・保護者の間に入って仲立ちの役割をするのが「地域コーディネーター」です。(コーディネーター； coordinator とは、ものごとを調整する役の人)

また、地域等の要請で学校・生徒・教職員がお役に立つことがあれば、学校・生徒・教職員が地域に貢献する場面もあるかと思えます。このような時もコーディネーターが間に立ち、学校と地域のために調整・活動します。

コミュニティ・スクールは学校、保護者、地域住民が共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくしくみですが、このコミュニティ・スクール支えるしくみが「(仮称) 地域学校協働システム」です。

併設型小・中学校とはどのような学校か？

さて、昨年末に「小中一貫CSだより第1号」を発行したところ、早速問い合わせがありました。「併設型小・中学校とはどのような学校なのか」というものです。小中一貫教育校下表のように大きく分けて2つの型がありますが、弘前市教育委員会が設置しようとしているのは、下表左の「中学校併設型小学校・小学校併設型中学校」です。

	中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	義務教育学校
修業年限	小・中学校と同じ（6・3制）	9年
教育課程	・9年間の教育目標の設定、9年間の系統性を確保した教育課程の編制 ・小・中の学習指導要領を適用した上で、一貫教育の実施に必要な教育課程の特例を創設	左に同じ
組織	・学校毎に校長、教職員組織 ・教員は各学校種に応じた免許を保有	・1人の校長、1教職員組織 ・教員は原則小中免許を併有
施設	・施設の一体・分離を問わず設置可能	左に同じ

「教育自立圏」調査研究についての中間報告②

先進校視察等報告会・小中合同研修会を行いました。

1月12日（木）、石川中学校で、小中一貫教育やコミュニティ・スクールについて学んできたことを発表し合う報告会を実施しました。石川小学校・中学校の全教員、弘前市教育委員会の学校づくり推進課・学校指導課の職員の皆様も出席してくれました。

報告した主な内容は下記のとおりです。

- 1 秋田県小坂町立小坂小中学校～藤林先生（石川小）
 - ・小坂小中学校の共通した授業デザイン「小坂スタンダード」について
- 2 秋田県学力向上フォーラム～後藤先生（石川中）
 - ・横手北小学校と横手北中学校の学習指導について



- 3 「全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘」～地主先生（石川小）
 - ・北海道三笠市・岡山県岡山市・秋田県由利本荘市のCSの取組について
- 4 「第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山」～宮野教頭（石川小）
 - ・村山学園（施設一体型）の小中一貫教育について

- ・大南学園（隣接型）の小中一貫教育について～東海教頭（石川中）

- 5 埼玉県坂戸市立城山学園～松山校長（石川中）
 - ・乗り入れ授業・兼務発令について、「連携」から「一貫」に向かうために大切なこと、小中一貫教育の成果と課題



1月13日（金）、石川小学校で、弘前市教育委員会村元指導主事を講師として、総合的な学習の時間、生活科、「ひろさき卍学」についての研修を行いました。